

栄町見聞録

第174号

平成三十年七月 (6月定例議会報告)



執筆発行 栄町議会議員
野田 泰博
栄町安食台1丁目8番7号
メール yasnod8760@gmail.com
Tel 0476-95-3665



(解説)「イスカリオテのユダ」とはカリ
オテ(地名)の人ユダという意味。
ユダはイエスの12人の使徒(弟子)の
リーダー的存在。ユダはイエスを最後に銀
貨30枚で裏切った。裏切られたイエスは
十字架で処刑。イエスは弟子の中でユダを
信頼し会計係にしていた。

町長選前後の議会の議会審議とねじ曲がり

4月の町長選に千葉市在住で仮住所を栄町に持
った中谷氏が、岡田町長3期無投票阻止と銘打っ
て松島議員と元議会事務局長の馬場氏の応援で参戦
した。左記のように町長の得票数の半分を取ったの
は実に立派。しかし選挙前には中谷氏応援の松島議
員が副町長に辞めると迫った。

副町長の今までの功
績は大変大きい。栄
町の財政が四方八方
塞っていたが、大胆に解決
して来た。その副町長に辞
めるとはあまりにも傲慢。
松島氏指摘の問題点は、国
から栄町に派遣された方
(国家公務員)が小さな自
治体のやり方を理解できず
に期限迄に建物が完成しな
かっただけ。国の交付金が
2百万円程度減額(減額分
は町長と副町長の給与から
差し引く議案が可決し、町
には実際の損害なし)され
ただけなのだ。町長と副町
長で責任をとることを松島
議員は知っていないながら町長
と副町長をさらに追い詰め
ようとした。二人は監督責
任としてしか言えないのを
承知の上で追い詰めた。責
任を取るべき国家公務員の
方が二人より高給取りなの
にだ。

以外の中谷氏の推薦をどう
思うか私に聞いて来た。私は
「政党の方針は知らないが、
私は岡田町長を応援する」と
だけ答えた。そしてどの政党
も推薦しなかった。その中谷
氏を自民党松島氏が応援し、
ねじ曲がり選挙が栄町の町
長選になった。松島氏は町長
だけでなく、自分の所属する
党も裏切った。しかし、栄町
の自民党幹部(岡田町長の後
援会長も議長も応援議員も
皆栄町自民党の幹部)も誰も
松島議員に注意もできず、た
だほったらかしにした。

ねじ曲がりその1

松島議員の議会報告書
「まちづくり瓦版」による
と、自分こそが藤江町長の
後継者で栄町長になりたか
ったと独白している。自分
が町長になりたいなら身代
わり候補者など立てずに自
分で立候補すべきだった。
無理な選挙だからこそ、ね
じ曲げなければならぬ。状
況と背景があつたのだろ
う。いつも理路整然とご自
分の意見を論じる議員とし
ては、恐ろしくねじ曲げた
論法を展開させた。過去の
町長を尊敬し、憧れるのは
悪くないが、現職町長を追
いおとすには、副町長に戦
いを挑んでも意味がない。
副町長を倒せば町長も倒れ
るといふ戦略は、まるで目
隠して鬼と戦う一寸法師。
松島議員は一般質問で副町
長と対決し、「私が正しいな
ら副町長は辞めなさい、私
が間違っていたら私は辞め
る」とまで言い切った。

町長や副町長の仕事は一
人で仕事をするのでなく、
多くの人の能力と特徴を生
かして完成させねばならな
い。岡田町長と副町長は多
くの町内外や国県の方から
の助けで町政運営をしてい
る。それを私は評価してい
る。自民党員でもある松島
議員の応援を受けた中谷氏
は立憲民主や民進、共産党
に推薦を要請した。共産党

ねじ曲がりその2

松島議員は二期に亘って、
岡田町長の後援会の祝勝会
で、必ず舞台などで、岡田町
長をベタ誉めする司会をし
ていた。8年前の選挙後、岡
田町長が松島議員を町の監
査に任命した。町長が信頼し
たからだろう。

今回松島議員は自らを「自
分はイスカリオテのユダ」と
称し自分の「まちづくり瓦
版」で自分の行動を説明。ク
リスチャンであればイスカ
リオテのユダの意味もすぐ
分かるが、普通は分からな
い。(右記に解説)

当化するために「成すべき
ことを成せ」だけを引用し
たかったのだろう。

しかし私は松島議員が町
長を裏切っても町民を裏切
ったとは思っていない。町
民に自分の知り得たことを
披瀝したいだけだったので
は。議員は町民のために仕
事をするのであって、町長
のためではない。もし本当
に反町長になるなら岡田町
長に指名された役職・監査
を辞任してから行うべきで
はないか。これがまさにね
じ曲がりのその2だ。

(後日談)

6月議会の一般
質問で、町長から推薦され
た監査を辞めないと松島議
員は宣言。自分が間違っ
ても言わなかった。

ただ最後に菅原文太のヤ
クザ映画「仁義なき戦い」
の一場面(敵ヤクザを射殺
した後)「あと弾は2発残
っているぜよ」と凄む有名
な場面を引用し、「私の監査
の期間はあと2年ある」で
一般質問を恫喝で締めくく
った。ユダになったり文太
になったり忙しいことだ。

ねじ曲がりその3

町長選挙の時、ねじ曲がり1に、
激怒した私は岡田町長を圧倒的勝利
に導こうとして応援団の先頭に立つ
つもりになった。ただ2日間だけし
かできなかった。応援議員の中には
1票でも多ければ勝ち勝ちは勝ちとい
人もいた。私は町長3期目の選挙は、
栄町のことを何も知らない中谷氏相
手には99対1の圧倒的勝利が必要
だと選挙カーからも町民に訴えたの
だが・・・残念ながら町長応援団
からも、「野田さんは過激すぎる」と
嫌がられた。選挙2日目の午後から
選挙カーの私の席は無くなった。

8年前川崎町長が亡くなった時、
当時の岡田議長に町長をすべきだと
直談判した。岡田さんとは議会では
大分言い争ったが、彼は人を生かす
やり方がうまいと私は評価してい
た。当時の岡田さんは、松島議員を
町長にしようと考えていると私に伝
えた。理由は「部落の長老との約束」
だからとのこと。

政治の原点は町民にある。町長や
議員になるのは有権者が決めるので
あつて、一部のボスの存在の人が決
めるのではない。その後、松島議員
は出馬を断念。岡田議長が出馬する
ことになった。選挙後、松島さん
を断念させ、岡田さんにしたのは俺だ
と大澤議員から告白された。岡田さ
んが町長選に出馬すると決めた時、
岡田氏出馬の裏事情は岡田町長から
も大澤議員からも直接聞いたので間
違いない。何年経っても松島議員に
町長の番が回って来ないのが「ねじ
曲がりの原因」のような気がした。



ついでの話・私が町長選を覚悟して会社を辞職した時
8年前、川崎さんのご逝去後、岡田さんが出馬せず、松島議員を出すというので、私は会社を辞め対抗馬として町長選出馬を決断。出馬の意向を表明する前日、私は町長選には岡田さんが出ると知った。

岡田さんに町長になるべきだと一度は進言し断られたが、二分断された町を治めるのは岡田さんに託すことが町のためにはベストだと思いい、岡田さんを応援する立場を選択した。
大野町長時代から栄町議会は二分され、議場では意味のない争いが何度も起きていた。特に松島議員と元議会事務局長は、執拗に私の一挙手一投足に文句をつけた。以前もお伝えしたが、元議会事務局長は私の会社社長に電話で「何故会社は社員に議員職を許可しているのか」と聞いた人。当時の議長、町長は議会事務局には知らんぷりした。役場へ反発すればお前の職場まで介入するぞという脅しだった。私のポスターが破られたり、駅前トイレの壁に「野田殺す」と落書きもされたりもした。

私が反対したのは、栄町の借金が増えて財政が困難になるのを無視して布鑑に温水プール付きの体育館建設計画や前新田に運河を巡らせてボート係留場付き住宅団地を作る計画等には徹底的に反対した。だから私は煙たがられた。当時の町長には要注意人物となったのだから。
反対に、その時私が解ったことは、議会が分裂し、いがみあうだけでは町政は停滞し、町民が不利益を被るといふ事だった。岡田氏が議長になり、町長になり、急速に正常化した。だからこそ私は岡田町長の人をまとめる手腕を信じ彼の運営を支持したのだった。

町民に説明もせず、町民の目を自分に向けたいだけに、反対を誇張し、批判票を得るためだけの選挙では真実は見えない。
町民に選ばれた議員は町民に正確な情報提供の義務がある。民主主義とは情報公開が原則の政治体制だ。
議員としての自分の義務を放棄し、選挙のためだけに他市から仮移住した人を利用した行為は町長も有権者も裏切ったと思っている。これが今回の選挙だった。この事を許した責任は議員全員にある。

町のあり方を選挙を通じて考えて欲しいと思った。今回発生したキッズランド建設批判、コスプレ館建設遅延批判は栄町議会議員が何度も説明を受け、現状を理解して一歩進めた事案だった。議員全員で議論し、子育て施策、観光客増加政策など十分に議論した。岡田町長が一人で決めたことではない。

自分が賛成した事を町民に説明もせず、町民の目を自分に向けたいだけに、反対を誇張し、批判票を得るためだけの選挙では真実は見えない。
町民に選ばれた議員は町民に正確な情報提供の義務がある。民主主義とは情報公開が原則の政治体制だ。
議員としての自分の義務を放棄し、選挙のためだけに他市から仮移住した人を利用した行為は町長も有権者も裏切ったと思っている。これが今回の選挙だった。この事を許した責任は議員全員にある。

私が今回の町長選の内情をなぜ赤裸々に公表するのか
町長選挙では候補者は将来の町の図面を町民に公開しなければならぬ。新人でよその市から選挙の時だけ移り住み、3選阻止を旗印にし、目新しい政策はほとんどなかった。既に終わった事を公約に入れたりして、不勉強極まりない候補者だった。
今、栄町は日本の他の都市と同じ問題、特に人口減、高齢化率増大の問題を抱えている。だからこそ他人まかせにせず一人一人が栄

同省によると、人口4千万人以上の32カ国の中では、子どもの割合は日本が最低。米国は18.9%、中国16.8%、韓国13.1%（平林大輔）
15歳未満の子どもの数は1553万人（4月1日現在）で、前年より17万人減り、1950年以降で過去最低となったと総務省が4日発表した。37年連続の減少。ピークだった54年（2988万人）のほぼ半数に減った。総人口に占める子どもの割合は12.3%で、世界でも最低水準だった。

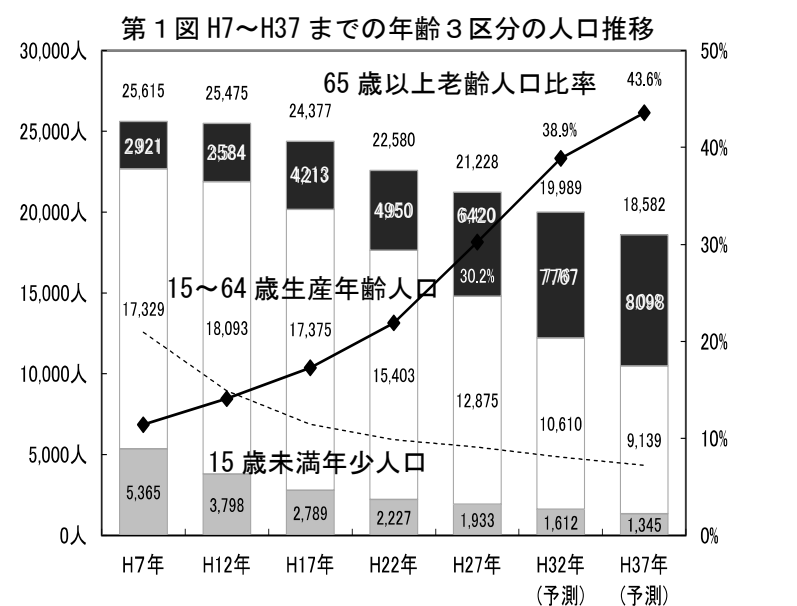
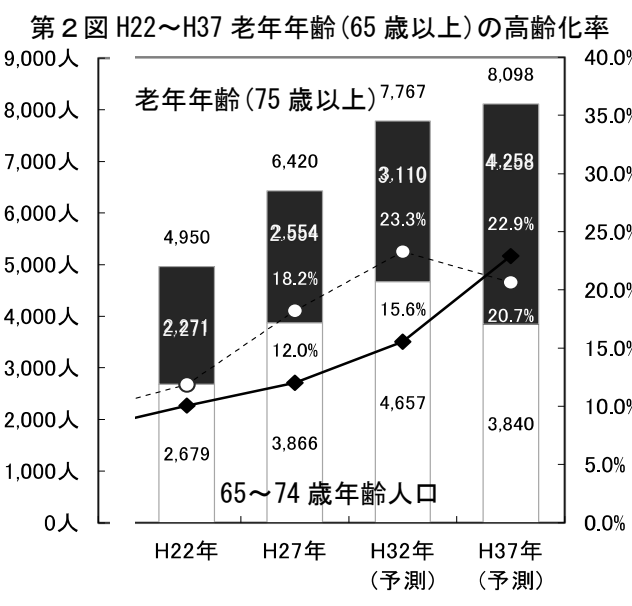
子どもの数最低

15歳未満 1553万人 37年連続減

「子どもの日」に合わせ「こともの日」に合わせて国勢調査の結果などから推計した。男子が795万人、女子が758万人で、男子の方が37万人多い。年齢別では、0〜2歳293万人▽3〜5歳298万人▽6〜8歳313万人▽9〜11歳323万人▽12〜14歳326万人と、少子化で年齢が低いほど少ない。

近未来の栄町年齢別人口構成図

全国で15歳未満の子供の数が37年連続で減少している。4千万人以上の国の32カ国中15歳未満の子供は最低となった。栄町では7年後に人口1万8600人のうち65歳以上は43%となり、その半数が75歳以上と予測されている。子育て政策を早急に充実し若い世代が住みやすい町にするのが急務。超少子化超高齢化は始まっている。



日本(栄町も)が超少子化超高齢化問題で直面する複合介護問題

今日は、人口減、少子化、高齢化率増加、介護施設不足、消費税アップ、医者不足、高齢者の在宅介護から在宅看護への移行問題などが複合的に組み合わさった問題が目の前に現れている。今までは高齢者対策に重点的に投資してきた。今から16年前私が議員になって3期目、ちょうどドクターヘリ医療が始まった時、日医大の先生を個人的におよびしてふれプラ大会議室で講演会を行なった。「国の政治家たちは、医者はこれから余ってくる、と言っているが大きな間違い。」と先生は講演した。その先生は医者不足が近い将来必ずやって来る。国のインテリゲンチヤは地方へ散らばっている若き医者が東京へ集中してくるような制度と講演した。医療は中央に偏りすぎと指摘した。今その影響が複合介護問題と合わさって急浮上しつつある。人口減、少子化、急速な高齢化社会の進展、医療がドクター不足で、介護は自宅でやらねばならない時代に突入しつつある。国の制度変更はこれから頻繁に行われる。しかし対応する役職員は増やせず、普通に介護と看護を必要とする人が置き去りにされるだろう。今の安倍政権は高支持率を目標にした政権運営で、弱者への心配りが全くない。

映画「万引き家族」を観て

この映画を観たかったのは、先進国の片隅で世間から忘れ去られた家族が皆で協力しあい、精一杯生きていくというを描いていると感じたからだ。その家族はひとりひとり大きな陰を背負っているが、作り上げた愛で結ばれているという姿を描いている。先日5歳の子供が親から虐待をされて死んだ。現実では親が子を、子が親を殺したりするが、この万引き家族は常識から逸脱した生き方をしながらも作り上げた愛でしっかりと結ばれていることを描いていた。偽の家族でも愛で結ばれることができる。血のつながりだけが本物の家族ではない。血の繋がった家族でも愛がなければ偽の家族にさえもなれない。(カンヌ映画祭最高賞。パルムドール受賞)